令和７年３月末現在

ＩＳＯ／ＴＣ３４／ＳＣ１６（分子生物指標の分析に係る横断的手法分科委員会）の概要

１．当委員会の概要

（１） 名称：Horizontal methods for molecular biomarker analysis
分子生物指標の分析に係る横断的手法分科委員会

（２） 設立：２００８年

（３） 幹事国：アメリカ

（４） 作業範囲：
Standardization of biomolecular testing methods applied to foods, feeds, seeds and other propagules of food and feed crops including:
・Methods that analyze nucleic acids [e.g., polymerase chain reaction (PCR), genotypic analysis and sequencing], proteins [e.g. enzyme linked immunosorbent assay (ELISA)], and other suitable methods.
・Variety identification and detection of plant pathogens.
The scope does not include food microbiological methods.

（仮訳）食品、飼料、種子及び食品、飼料作物のその他繁殖体に適用される以下の方法を含めた生体分子学的分析法の標準化：
・核酸を用いた方法（例：PCR法、遺伝子分析及び配列決定）、タンパク質を用いた方法（例：ELISA法）及び他の適切な分析法。
・品種判別法及び植物病原体検出法。
なお、作業範囲には、食品微生物学的分析法を含まない。

（５） ＩＳＯ／ＴＣ３４／ＳＣ１６が直接責任を有する発行された規格数：４０
（追補を含む）

（６）Ｐメンバー：２６ヶ国

（７）Ｏメンバー：２０ヶ国

（８）ＩＳＯ／ＴＣ３４／ＳＣ１６に設置されているＷＧ（作業グループ）

ＷＧ番号※1	作業部会名（仮訳）	コンビーナの出身国
８	肉種識別	日本
９	種子及び穀物のサブサンプリング	日本
１０	高速核酸増幅法	アメリカ
JWG１１※2	農業及び食料生産のためのバイオバンキング	ブラジル
JWG１２※3	農業繊維の分子生物指標	オランダ
１３	マイクロアレイの検出	日本
１４	遺伝子組換え体の検出と定量化	アメリカ
１５	定性リアルタイム PCR 分析法の単一試験所による妥当性確認	ドイツ
１６	ISO16393 の改訂	－
１７	DNA に基づく方法による食品中の植物種の分析	中国
１８	次世代シーケンス標準	アメリカ

※１：検討される規格がなくなったＷＧは解散された。

※２：ＴＣ２７６（バイオテクノロジー）との共同作業グループ。

※３：ＴＣ３８（繊維）との共同作業グループ。

２．国内の検討体制について

規格の検討に際し、ＦＡＭＩＣは国内審議団体としてＩＳＯ／ＴＣ３４／ＳＣ１６国内対策委員会を設置し、幅広く国内意見を取りまとめ、投票や意見募集に対して適切な対応を行っております。また、分子生物指標分析に係る規格案の検討に際しては、専門的な知識を要することから、分子生物指標規格専門分科会を設置し、対応しております。